

## 匝瑳市国民健康保険運営協議会 会議録

日時 平成29年2月9日 午後1時30分から

場所 匝瑳市役所議会棟2階第二委員会室

委員定数 被保険者代表5名、保険医代表5名、公益代表5名

(出席委員) 押尾悦子、伊東秀子、萱森孝雄、大木公男、神子さた子、  
橋場永尚、椎名栄次、鈴木琢雄、向後英夫、林眞示、  
島田省悟、塚本隆夫、木内成幸

(欠席委員) 石毛則男、江波戸寛

(市側出席者) 市長(太田安規)、健康管理課長(高橋康二)、税務課長  
(山下慎一)、同市民税班統括(林巧)、市民課長(塚本貢市)、  
同国保年金班統括(鶴澤一義)、同主査(鶴澤正明)

### 議事及び概要

#### 諮問事項

平成29年度匝瑳市国民健康保険特別会計予算(案)について

#### その他

- ア 平成29年度国民健康保険制度等の改正予定について
- イ 平成28年度特定健診等実施状況

開会(午後1時30分)

#### 事務局

皆様、お忙しい中、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。ただいまから、平成28年度第2回の匝瑳市国民健康保険運営協議会を開会いたします。

それでは、開会にあたりまして、最初に市長よりご挨拶申し上げます。

#### 市長

本日は足元の悪い中、また大変お忙しい中、第2回匝瑳市国民健康保険運営協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。委員の皆様方におかれましては、国保運営に限らず、市政全般にわたりまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに、この場をお借りいたしまして、厚くお礼を申し上げます。

さて、平成30年度から国保事業の広域化になるわけであり  
ますけれども、現在、県におきましては、国民健康保険運営協  
議会を設置いたしまして、運営方針の策定が始まったところで  
ございます。そして先般、第1回の千葉県国保運営協議会が開  
催されたところであります。

本日は、平成29年度の匝瑳市国民健康保険特別会計予算案  
について、ご協議をいただけるわけでございますけれども、本  
年度と同様に平成29年度も被保険者数の減少が見込まれる  
中で、歳入の国保税では4.6パーセントの減少、そして歳出  
の保険給付費では1.1パーセントの増加ということで大変厳  
しい状況となっているところでございます。

国保会計といたしましては、一般会計からは特別繰入を継続  
し、そして、それでも不足する分につきましては、財政調整基  
金から補てんするという厳しい運営となりますけれども、国保  
財政健全化計画に基づきまして、健全運営に努めてまいりたい  
と考えておるところであります。

委員の皆様方におかれましては、議案に対する慎重審議をお  
願いするわけでございますけれども、それと同時に、今後の国  
保運営に対しましても、忌たんのないご意見を受け賜れば幸  
いと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。  
以上で、私の挨拶とさせていただきます。

事務局

ありがとうございました。さて、本日の議題に入らせていた  
だく前に、配布資料の確認をお願いいたします。

(配布資料の確認)

事務局

それでは次第の3議事に移ります。匝瑳市国民健康保険条例  
施行規則第6条によりまして、議長は会長が務めることとなっ  
ておりますので、会長、よろしくお願いたします。

議長

委員の皆様方におかれましては、ご多忙のところお集まりい  
ただき、誠にありがとうございます。それでは、規則によりま  
して、議長を務めさせていただきます。議事進行にご協力いた  
だきますよう、よろしくお願いたします。

本日の出席委員は、13名で過半数に達しておりますので、

会議は成立いたしました。

それでは、議事に入ります。諮問事項「平成29年度匝瑳市国民健康保険特別会計予算（案）について」、事務局の説明を求めます。

事務局

それでは、諮問事項「平成29年度匝瑳市国民健康保険特別会計予算（案）について」、概要を説明させていただきます。

（内容説明）

議長

事務局の説明が終わりました。それでは質疑に入ります。何かご意見ご質問等がありましたら、挙手をお願いいたします。

議長

では、私からよろしいでしょうか。29年度の歳入で収納率を92.37パーセントと見込んでいますが、27年度、28年度についてはどのくらいの収納率でしょうか。

事務局

収納率のご質問でございますけれども、平成27年度は現年課税分実績で91.88パーセント、28年度は見込みとなりますが、現在の状況で92.32パーセント、そして、28年度から若干の伸びを見込みまして、29年度は92.37パーセントで見込んでいます。

議長

実績に近い数値ですね。他に何かありませんか。

（委員挙手）

委員

滞納者の収納率については、どのようになっているのか。

事務局

収納率で申し上げますと、ここ7年は上昇しておりまして、僅かずつではありますが、収納率は上がっている状況です。滞納の額についても、生活困窮等でどうしても支払が難しくなると、消滅をさせているので、少しずつ少なくなっている状況です。

委員

滞納者は、毎年同じメンバーか。

事務局 現年課税の徴収に重点を置いておりますので、額は減っていますが、滞納分が残っている方は、そのまま残ってしまう状況で、どうしても同じような方になってしまいます。

委員 匝瑳市において、高額療養費に該当する病名は何か。

事務局 記憶で申し上げますが、昨年10月の月間のレセプト請求の中で上位30位までを抽出いたしまして、この中で、交通事故関連で手術をした方が100万点くらいで1位となっております。その他、心臓疾患や脳の血管疾患の関係の手術をした方が複数上位に入っております。少し前のデータになりますが、平成26年度の上位10位まででは、慢性閉塞性肺疾患で肺を移植した方が1位でございます。2位がその他の心疾患で急性心筋梗塞でございます。3位が虚血性心疾患で右下肢閉塞性動脈硬化症、4位の方は解離性大動脈瘤、5位はファロー四徴症で心不全の関係です。6位は弓部大動脈瘤で人工血管、7位が脳動脈瘤で脳室内出血となっております。8位が弁膜症、9位が特発性拡張型心筋症で心房細動となっております。10位の方が虚血性心疾患で右下肢閉塞性動脈硬化症となっております。以上が26年度の上位10位となります。

委員 循環器系が多いのですね。今後は社会保障費に対して予算を重点的に充てていただきたい。

議長 他にございますか。ないようでしたらお諮りいたします。諮問事項「平成29年度匝瑳市国民健康保険特別会計予算（案）について」の質疑を打ち切ることにご異議ございませんか。

(異議なしの声)

議長 ご異議なしと認め、質疑を打ち切ります。これより採決に入ります。諮問事項「平成29年度匝瑳市国民健康保険特別会計予算（案）について」承認される方の挙手を求めます。

(全員挙手)

議長 挙手全員であります。よって、諮問事項「平成29年度匝瑳市国民健康保険特別会計予算（案）について」は、原案のとおり承認されました。

議長 次に「その他」に入らせていただきます。その他ア「平成29年度国民健康保険制度等の改正予定について」、その他イ「平成28年度特定健診等実施状況」について、事務局の説明を求めます。

事務局 それでは説明させていただきます。

(内容説明)

議長 事務局の説明が終わりました。ただいまの説明について、何かご意見ご質問等がありましたら、挙手をお願いいたします。

(委員挙手)

委員 特定健診について、医療機関の中には事前に連絡しても断られる場合がありますが、どのようにお考えでしょうか。

事務局 特定健診の個別健診については、受診の期間を6月から9月までという事で実施しております。期限近くになると大変混み合うという実情がございますので、ご希望がありましたら早めに医療機関へ相談することの市民への周知と併せて、医師会へもそのような情報提供をしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

議長 私からよろしいでしょうか。29年度から特定健診の対象を30歳以上にするとのことですが、35歳以上40歳未満の実施状況はどうなっていますか。

事務局 28年度の35歳以上40歳未満の受診率ですが、対象者数が611名、受診者数が集団、個別あわせて147名、受診率は24.1パーセントとなっております。

議長

若い人の受診もかなり多いのですね。

事務局

補足します。27年度の特定保健指導についてですが、法定の40歳以上について、動機づけの対象になった方が9.0パーセント、積極的支援の対象になった方が6.5パーセントでございました。35歳から39歳までについては、動機づけの対象は40歳以上より低く8.0パーセントだったのですが、積極的支援の対象は10.1パーセントに達しました。このような結果から健康管理課で検討をして、対象年齢を引き下げることといたしました。なお、拡大分の事業費については、国保の保健指導事業により、国庫金で全て賄いたいと考えております。今のところ制度改正の連絡は来ておらず、国庫金の申請は可能であると見込んでおります。

(委員挙手)

委員

対象年齢の引き下げに関連してですが、個別健診で受診できない場合があるというお話がありました。35歳から39歳の若年層を加えるということになりますと、現在6月から9月までが受診期間ですが、期間についてはいかがお考えですか。

事務局

今のところ、従来どおり6月から9月までということで検討しております。

委員

1日あたり3名、9月になると4名を外来の間際に個別健診として受け入れているので、外来が混んでいると、なかなか受け入れにくいのが実情です。可能であれば早めに受診するように調整をしていただきたい。

事務局

早めに申込するよう周知したいと思います。

議長

他にどうでしょうか。

(委員挙手)

委員 人間ドックはどれくらい利用しているのですか。

事務局 平成27年度の実績で、191人でございます。今年度は、現在、決定通知を出した方が167人ですので、180人程度を見込んでいるところでございます。なお、平成29年度については、積算上は220人を計上してあるところでございます。

議長 他に御意見ございませんか。

ないようですので、次に進めさせていただきます。次第の4その他について、事務局の説明を求めます。

事務局 それでは次第の4「その他」について、説明させていただきます。

(内容説明)

議長 事務局の説明が終わりました。ただいまの説明について、何かご意見ご質問等がありますでしょうか。

折角の機会ですので、今日の議題にかかわらず、何かご質問などがございましたらお願いいたします。

事務局 委員からお話のありました個別健診の実施時期について補足の説明ですが、平成27年度と28年度の受診者数を比較した結果、28年度におきましては280人ほど減っております。29年度に対象年齢を5歳引き下げて新たに対象になる人数が500人、受診率は30パーセントで150人の受診者増を見込んでおりますので、受診者数は増加しないと見込まれます。特定保健指導の関係もございますので、被保険者には早めの相談申込の周知に努めます。

議長 他にどうでしょうか。ご意見等がないようですので、これで打ち切らせていただきます。以上をもちまして、本日の議事は、滞りなく終了いたしました。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

事務局 議長には、スムーズな議事進行、ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、会議を終了させていただきます。  
ご協力ありがとうございました。

閉会（午後 2 時 4 0 分）